

事業番号	04 07 02	事業改善シート (令和3年度実施事業分)		□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検	
事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
		実施期間	S28 ~	E-mail	jisedai@pref.nagano.lg.jp
総合5か年計画(しあわせ信州創造プラン2.0)					
8つの重点目標	⑤2025年に県民希望出生率1.84を実現				
総合的に展開する重点政策	1-1 生きる力と創造性を育む教育の推進 5-5 子ども・若者が夢を持てる社会づくり				



1 事業の概要

事業の現状・目指す姿(予算編成時)及び実施内容	【現状】	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者の支援については、各年代を通して一貫した支援になることが必要だが、乳幼児期の当事者家族周辺の理解や世代、分野をまたぐ支援の引継ぎに課題がある。 信州こどもカフェは県下159か所(令和4年3月時点)となり、昨年より増加したが、身近な地域の居場所としてはまだ不足している。
	【目指す姿】	長野県の全ての子ども・若者が健やかに育つことができ、また支援を必要とする子ども・若者を支えることができる社会の実現を目指す。
	【実施内容】	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者について、広く一般向けだけでなく、ターゲットを絞った普及啓発を行う。発達障がい者支援対策協議会合同部会にて支援の引継ぎ方法を整理検討する。 信州こどもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州こどもカフェの設置を推進する。

指標の状況及び目標値 [↑:改善、↓:悪化、→:変化なし、-:数値なし]									
No	成果指標	単位	R1年度	R2年度	推移	R3年度	推移	R3年度目標値	達成状況
1	地域における子どもの性被害防止のための研修会等の参加人数	人	13,063	7,532	↓	10,949	↑	現況以上(R1)	未達成
2	「信州こどもカフェ」への補助箇所数	箇所	41	65	↑	83	↑	現況以上(R1)	達成
3	子ども・若者支援地域協議会における要支援者の支援完了及び継続者の割合	%	86	90	↑	91	↑	88	達成
4	発達障がい者サポーター養成講座の受講者数	人	14,883	15,485	↑	15,934	↑	18,000	未達成
5	サポート校に通う生徒の通信制高校中退率	%	-	0	→	0	→	現況以下(R2)	達成

区分(単位:千円)	R1年度	R2年度	R3年度
前年度繰越額	0	0	0
当初予算額	153,204	179,482	180,563
補正予算額	-4,700	-4,532	-15,602
合計(A)	148,504	174,950	164,961
うち一般財源	94,019	114,367	98,560
決算額(B)	138,056	148,345	157,807
職員数(人)	10.0	10.0	10.0

成果指標及び目標値の設定理由	<ol style="list-style-type: none"> 1.地域において自主的に開催される性教育、人権教育、青少年のインターネット適正利用の学びの場への参加者数を増やし、子どもの性被害等を防止する。 2.「信州こどもカフェ」への支援状況を評価する指標として適している。 3.子ども・若者支援地域協議会の運営を通して、ニートやひきこもり等の困難を抱える子ども・若者(要支援者)に対する、関係機関の効果的な連携による支援を推進する。 4.「発達障がい者サポーター養成講座」の受講者数を増やし、地域における理解者の養成を進める。 5.高校卒業資格取得や社会的自立を促すことを目的としているため、支援を受けた生徒の経済的理由による中退率を目標値としている。
達成状況の分析	<ol style="list-style-type: none"> 1.新型コロナウイルスの影響により実施を見合わせる傾向があり、参加人数は回復しなかった。 2.こどもカフェの設置数が増えたことや、新型コロナウイルスに係る補助額上乘せにより、申請数が増えた。 3.関係機関同士の連携が促進されたことにより、支援が中断されるケースが減少し、目標を達成できた。 4.新型コロナウイルスの感染対策のため長期間講座を開催することができず、受講者数が伸びなかった。 5.昨年度に引き続き、支援を受けた生徒の中で経済的理由による中退者はいなかった。

主な取組	<ul style="list-style-type: none"> ✓ 子どもの居場所づくりの推進 <ul style="list-style-type: none"> 信州こどもカフェの食材費などの運営費助成による取組の推進 信州こどもカフェ箇所数:133(R2)⇒159(R3) 県庁・合同庁舎でのフードドライブの開催 延べ44回開催 28,223kg ✓ 子ども・若者支援地域協議会事業の推進 <ul style="list-style-type: none"> 発達障がい等により困難を有する方々の状況に応じた相談支援の実施 協議会事務局:県下4箇所 相談支援者数:361人(R3) 「自立」や「就労」に向けた準備のための居場所の開設 居場所延べ利用者数:645人(R3) ✓ 長野県将来世代応援県民会議の取組 <ul style="list-style-type: none"> 子どもの性被害予防及び情報モラル向上のための研修会の実施 実施回数:121回 参加人数:10,949人 ネットトラブル相談事業 相談件数 328件 	 <p>信州こどもカフェマップ</p>  <p>活動の様子</p>
------	---	--

2 今後の事業の方向性

	課題等	今後の方向性
今後、事業をどのようにしていきたいか	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がいに係る支援や普及啓発について、コロナ禍だからこそニーズがあるにも関わらず、感染対策のため十分に実施できない傾向があった。 信州こどもカフェは県下159か所となり、昨年より26か所増加したが、目標の180か所には及ばない。また、設置地域の偏りもあり、身近な居場所としてはまだ不足している。 子どもの性被害予防及び情報モラル向上支援について、コロナ禍のため人が集まる研修を控える傾向があった。 	<ul style="list-style-type: none"> 発達障がい者支援センターや発達障がいサポート・マネージャーを中心とした地域支援の充実を図るとともに、WEB等を活用した普及啓発を推進する。 信州こどもカフェの運営支援や担い手の育成等を通じて信州こどもカフェの設置を推進する。 情報モラルについては開催が伸びてきているが、性教育や人権教育の開催が増加しないため、特定のターゲットへ向けて周知を行う。

事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
-----	--------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
1	青少年の健全育成事業	21,818 千円	18,953 千円	19,741 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	長野県将来世代応援県民会議(青少年育成事業)補助事業	補助金	青少年健全育成運動を行う長野県将来世代応援県民会議に対し、補助金(青少年サポーター設置事業、子どもの性被害予防のための取組支援事業、青少年インターネット適正利用推進協議会事業など、子どもの性被害予防関係事業を含む)を交付した。 補助金交付先:長野県将来世代応援県民会議
2	チャイルドライン支援事業	補助金	18歳までの子どもがかかる相談電話「チャイルドライン」の活動を支援することで、県内の子どもたちの声に寄り添える体制の強化を図った。 補助金交付先:長野県チャイルドライン推進協議会
3	青少年問題協議会開催事業	直接	子ども・若者支援に関する総合的な計画及び、子どもを性被害から守るための取組について審議した。
4	健全な社会環境づくり事業	直接	子ども・若者育成支援推進本部による県民運動の推進や、子どもを性被害から守るための啓発物品を作成し、周知啓発を行った。

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
2	官民協働の子どもの居場所づくり推進事業	2,698 千円	4,973 千円	6,836 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	信州子どもカフェの推進	補助金	信州子どもカフェや信州子どもカフェ推進地域プラットフォームの運営費を支援 信州子どもカフェ 83か所 信州子どもカフェ推進地域プラットフォーム 8か所

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
3	困難を有する子ども・若者支援事業	42,991 千円	44,688 千円	48,401 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	子ども・若者支援地域協議会事業	委託	社会生活上の困難を有する子ども・若者への支援を円滑に行うために、子ども・若者育成支援推進法に基づく地域協議会を運営した。 委託先:一般社団法人ぶれジョブほか3団体
2	困難を有する子ども・若者の専門的な自立支援の場応援事業	補助金	社会生活上の困難を有する子ども・若者に対して専門的な自立支援の場を提供する団体を助成し、県内の子ども・若者支援体制の強化を図った。 補助金交付先:(特非)待学園スクオーラ・今人ほか5団体
3	発達障がいのある子ども・若者の教育相談支援事業	委託	発達障がいなど認知特性に偏りが見られる児童生徒を対象とした教育相談の支援を行った。 委託先:(特非)翔和学園
4	不登校児童生徒の学校以外の「まなびの場」支援事業	補助金	学校以外の「まなびの場」における学びの充実を図るため、専門的人材の活用等の経費を支援した。 補助金交付先:(特非)Hugほか11団体

事業名	子ども・若者育成支援事業	部局	県民文化部	課・室	次世代サポート課
-----	--------------	----	-------	-----	----------

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
4	発達障がい者支援事業	70,549 千円	72,641 千円	74,375 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	発達障がい者支援センター事業	直接	発達障がいサポート・マネージャーや発達障がいペアレント・メンターの養成研修に加え、支援者向けの各種研修等を行った。
2	長野県発達障がいサポート・マネージャー配置事業	委託	10圏域に発達障がいサポート・マネージャーを配置し、一貫した支援を提供した。 委託先:(特非)ウィズハートさくほか9団体
3	市町村発達障がい者支援体制強化事業	委託	10圏域12名の市町村サポート・コーチが、年代や分野を超えて支援者が情報を共有するツールの普及を図った。 委託先:社会医療法人恵仁会ほか11団体

細事業 No.	細事業名	R1年度 決算	R2年度 決算	R3年度 決算
5	貧困対策等の子ども支援	0 千円	7,090 千円	8,454 千円

No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和3年度 実施内容(実績)
1	通信制高校サポート校等就学支援事業	補助金	通信制高校サポート校等を利用する低所得世帯の生徒の経済的負担の軽減を図るため、利用料の一部を支給した。 支給者:85人